

# 八戸拠点、社会人女子バスケットチーム

スウィーティ

# 「SWEETTY」発足

八戸市を拠点とした社会人女子バスケットボールチーム「SWEETTY（スウィーティ）」が発足し、来季、日本社会人バスケットボール連盟（JSB）の地域リーグへの参入を目指していることが関係者によると、県内で活動していた社会人チームは年々減少しつつあり、選手の練習環境は縮小傾向。仕事をしながら練習時間も限られる厳しい条件の中、県外にプレーの機会を求める選手も少なく

4日、分かった。同リーグに参戦するチームができるのは青森県内初。6日にも運営組織である一般社団法人を登記する見通し。地域に寄り添う「市民球団」のような立場で競技の普及、発展を図り、女性が活躍する場を創出するの

北から秋田銀行、山形銀行が所属。しかし、両チームは来年6月、新たに開幕する「アマチュアバスケットトップリーグ（仮称）」に参入するため、他に新規参入がなければ、SWEETTYは東北で唯一の地域リーグのチームとなる。

そうした現状を踏まえ、SWEETTYは、競技を続けた選手が打ち込める環境を提供すること、県内の有望選手を地元にとどめること、指導者の育成などを目的に今春、立ち上げた。ヘッドコーチに

## 県内初 JSBリーグ参入へ

は、八戸学院大で男女バスケットボール部を指導する橘勇佑氏が就く。

これまで内定している選手は12人。市内の企業が選手を雇用し、選手は働きながら練習する。既に受け入れを表明している企業もある。

国内女子バスケのトップリーグを巡っては、西日本地域リーグに所属していた「姫路イーグレッツ」（兵庫県）が2022年シーズンから、最高峰の「Wリーグ」に参入した事例もあり、SWEETTYも将来的なWリーグ参入や、地元の高校、大学などを巻き込んだリーグ戦の構想を視野に入れている。

チームは今月中に、リーグ参入に関する手続きを行う予定だ。

（磯野雄太郎）